

新たな計測技術を活用した、 計測システムの開発と市場導入

同社は、測量機械やソフトウェアの販売事業に加え、計測技術を用いたシステムや、位置情報と様々な空間情報を重ね合わせたGIS(地理情報システム)の開発を行っている。開発したシステムは建設業や林業向け等で高い作業性や独創性を有し、市場から高い評価を得ている。また、計測方法に関する複数の特許を有し、測量機械とモバイル機器、ソフトウェアを組み合わせた計測システムの開発には定評がある。直近では、ドローン技術を活用したシステム開発を行い、新市場開拓に取り組んでいる。

- | | | | |
|----------|---|--------|---------|
| ● 所在地 | 愛媛県松山市中村二丁目8番1号 | ● 設立 | 1949年 |
| ● 電話/FAX | 089-931-7175/089-934-7701 | ● 資本金 | 1,600万円 |
| ● URL | https://www.jitsuta.co.jp/ | ● 従業員数 | 44人 |
| ● 代表者 | 代表取締役 山内 延恭 | | |



既存技術を応用し新市場を切り開くシステムを開発

同社の主力商品である森林管理や地籍調査に係るシステムは、ICT技術を活用することで、これまで手作業で行われてきた測量作業や地理情報の作成や更新を大幅に簡素化した。森林管理業務を革新させた同社のシステムは、国内の森林組合の約70%のシェアを有している。直近では、こうした一連の技術にドローンを活用して森林の資源量を計測するシステムを全国で初めて開発した。



ドローン誘導システム(TSドローン)

林業関係者との連携体制で地域の産業振興に貢献

同社は、林業が盛んな地域に立地しており、フィールド実証が容易な強みを生かし、林業のICT化を牽引している。前述のドローン技術を活用した森林資源量を把握するシステムは地元の林業関係者と共同開発を行う等、連携体制の構築がなされている。また、インフラ点検を担うドローン制御システムも法令により飛行制限がある都市部に比べ、同地域は開発環境として大きな優位性を有している。今後、本システムがターゲットとするインフラ点検市場は、2030年には1兆4546億円、伸び率は173%と推計されており、成長が期待できる市場を切り開いている。



林業関係者との連携

就労環境の改善で働き方改革を強力に推進

同社は、企業活動の効率化を図るため、社内の様々な情報(活動履歴や予定や顧客情報)を集約、統合するためのシステム化を行った。今後は、業務の組織的な運営と複数事業の集約化、企業ガバナンスの向上により、「他に類のない企業」というブランドの確立を目指す。また、利便性向上のため、本社を新築移転と働き方改革を進め、ワークスペースのフリーアドレス化、文書管理のデジタル化・ペーパーレス化、テレワークの導入、売上在庫管理システムの一新等、様々な取組を行った。



新本社ビル